



おうみはちまんエコ通信

3号

今回は第1号に引き続き、「白鳥川の景観をよくする会（景観隊）」の白鳥川の堤防の清掃作業について取材を行いました。

今回の活動では、鯉のぼりで有名な総合医療センター前の堤防の除草作業が行われました。今回は18名のメンバーが慣れた手つきで、自走式草刈機や刈り払機、ノコギリ等を使い分け、うっそうとしていた堤防があっという間にきれいに整備されました。

白鳥川は総合医療センターから見える場所でもあり、入院されている方から、頑張っていて清掃やイベントをしている姿が闘病の励みになったと感謝されることもあります。そういった声や、近くを通られる方に声をかけてもらえることが景観隊の励みになっているそうです。



反対に、長年活動をしていても、未だにシルバー人材センターからの派遣と間違われることもあると代表の佐藤さんは言います。ボランティア団体であることから、清掃に伴う費用（替え刃や燃料、機械のメンテナンス等）の確保に加え、新規会員の加入等の課題も多くある中、活動を継続されている景観隊の皆さん。活動にご興味のある方は一度参加してみませんか。



↑ 清掃作業前(左) 作業後(右)